
和谷 泰扶 Yasuo Watani, Chromatic Harmonica

6歳よりハーモニカを始める。FIH ジャパン・ハーモニカ・コンテスト（クロマティック部門）で第1位を受賞。「日本ハーモニカ賞」受賞。同志社大学商学部卒業後、ホーナー・コンセルヴァトリウム（トロツィンゲン市立音楽院）の招待留学生として渡独、H.ヘロルド氏に師事。英国の名手 T.ライリー、H.ノートの各氏に師事。1987年第1回ワールド・ハーモニカ・チャンピオンシップス（イギリス）で第2位に入賞。ラリー・アドラー氏に絶賛される。1988年国際ハーモニカ・コンクール（オランダ）第1位及び特別賞。1989年第2回ワールド・ハーモニカ・チャンピオンシップス（ドイツ）第1位。京都市響、東京フィル、大阪フィル、新日本フィル、仙台フィル、新星日響、群馬交響楽団、九州交響楽団、広島交響楽団、ロイトリングン市響等と共演。1998年国際交流基金の派遣でアルゼンチン、ブラジル公演に参加。サイトウ・キネン・フェスティバル松本（1996年）、「東京の夏」音楽祭（1999年）、東京・春・音楽祭（2011年）に出演。従来のハーモニカの概念を塗り替える超絶技巧と音楽性は世界的な注目を集めている。1991年～2002年ホーナー・コンセルヴァトリウム主任講師。現在はソロ、室内楽奏者として活発な演奏活動を展開している。近年は、香港、シンガポール、台湾などに度々招かれ、マスタークラスやコンサートを開催する。1996年「村松賞」、1998年「京都府文化賞奨励賞」、「第6回バロックザール賞」受賞。2005年より洗足学園大学講師。

オフィシャルサイト <http://www.yasuowatani.com/>

菊地 知也 Tomoya Kikuchi, Cello

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学卒業。第6,8回霧島国際音楽祭にて奨励賞受賞。東京藝術大学にて安宅賞受賞。第60回日本音楽コンクール第1位、併せて増沢賞、特別賞受賞。第4回日本室内楽コンクール第1位、併せて東京都知事賞受賞。第1回全日本ビバホールチェロコンクール第1位。霧島国際音楽祭、ひろびろ音楽祭など多くの音楽祭に参加している。また、紀尾井ホール室内管弦楽団、アンサンブル・ノマド、アクロス弦楽合奏団、カルテット・ブラチナム、アンサンブル・ロココのメンバーとしての室内楽活動やソリストとしても活躍。全日本ビバホールチェロコンクールなど、全国各地のコンクールの審査員も務め、東京藝術大学、桐朋学園大学、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。現在、日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェロ奏者。日本チェロ協会評議委員。

荒尾 岳児 Gakuji Arao, Piano

東京大学文学部卒業後、東京藝術大学音楽学部作曲科に入学、同大学大学院修士課程作曲専攻修了。作曲を永富正之、松平頼暁、野平一郎の各氏に、ピアノを野沢真弓、石附秀美、遠藤郁子の各氏に師事。在学中より室内楽やオーケストラのための作品を多数発表。近作は、小鼓とオーケストラのための「風の心臓」（セントラル愛知交響楽団委嘱作品）、ヴィブラフォン・ソロのための「波の波」など。また一方でアンサンブル・ピアニストとしても、現代作品の初演も含む活発な活動を行っており、器楽声楽を問わず多くの演奏家からの信頼を得ている。2014年、和谷泰扶氏のCD「マタドール ～情熱のハーモニカ」（ナミ・レコード）において、編曲とピアノを担当。三重大学助教授等を経て、現在東京音楽大学准教授、東京藝術大学非常勤講師。日本ソルフェージュ研究協議会理事。

(2017年8月現在・転載禁止)

公益財団法人 三井住友海上文化財団

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-6-1 三井住友海上テブコビル 5階

TEL : 03-3562-9523 / FAX : 03-3535-7635 / E-mail : tikon@ab.inbox.ne.jp